

12月4日(金) 八王子で開催！

障害者自立生活運動から我々は何を学ぶべきか、それを我々JPPaCの活動にどのように活かすべきか

● 講師：中西 正司氏

- ヒューマンケア協会代表、全国自立生活センター副代表
- 当事者とは何か「当事者とは『問題を抱えた人々』とは同義語ではない。問題を生み出す社会に適応してしまっはズは発生しない。ニーズとは欠乏や不足という意味からきている。私の現在の状態をこころあっで欲しい状態に対する不足ととらえ、内新しい現実を作り出そうとする構想を持ったとき、はじめて自分のニーズとは何かを分かり、人は当事者になる。ニーズはあるのでなく作られる。ニーズを作ると言うのは、もう一つの社会を構想することである。」
- 当事者主権は、何よりも人格の尊厳に基づいている。主権とは自分の身体と精神に対する誰から侵されない自己統治権、すなわち自己決定権を指す。
- 私のこの権限、誰にでも譲ることが出来ない誰からも侵されないとする立場が「当事者主権」である。
- 当事者主権は、サービスという資源めぐって受け手と送り手の間の新しい相互関係を切り開く概念でもある。

出所：中西正司、上野千鶴著「当事者主権」岩波新書